

令和5年度（2023年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	理科	科目	生物	学年	第3学年	類型	Ⅱ型理系
単位数	4単位	教科書	改訂版 生物（数研出版）				
補助教材	リードLightノート生物（数研出版）、セミナー生物基礎＋生物（第一学習社）、生物問題集・実験ノート（愛媛県高教研理科部会）、ニューステージ生物図表（浜島書店）						

学習目標	生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識を持って観察、実験等を行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を養う。
------	---

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第4章 生殖と発生	有性生殖では減数分裂と受精によって多様な遺伝子の組み合わせが生じることを学ぶ。また、配偶子形成・受精、初期発生の過程、細胞の分化や形態形成のしくみ、誘導現象について学習する。	中間考査
	5月			
	6月	第5章 動物の反応と行動	ニューロンの構造と神経系の経路を学習する。受容器については、視覚器と聴覚器を、効果器については筋肉を中心に学ぶ。	期末考査
	7月			
2 学期	8月	第6章 植物の環境応答	植物の環境応答にはさまざまな植物ホルモンや光受容体が関与していることを学習する。	中間考査
	9月	第7章 生物群集と生態系	個体群や生物群集について、それぞれの特徴と生態系内での特定の役割について学習する。	
	10月	第8章 生命の起源と進化	生命の起源および生物の変遷について、地球環境の変化と密接に関係していることを確認しながら学習する。	
	11月	第9章 生物の系統	多様な生物の種類は形態的な特徴や分子データに基づいた系統によって分類されることを学ぶ。	期末考査
	12月	総復習		
3 学期	1月	〃		学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において基本的な概念や法則を理解していくことが大切です。図を利用しながら生物や生物現象を理解し、基本的な知識については何度も復習しながら身に付けることが必要です。生物に興味を持ち、日常生活や環境との関連を考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	--

	① 関心・意欲・態度	② 思考・判断・表現	③ 観察・実験の技能	④ 知識・理解	⑤
評価の観点	自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通理して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、提出物（課題、ノート、学習プリント等）・小テスト・実験レポート・授業に取り組む姿勢を考慮して評価する。				